

## 24 農業用ため池の防災・減災対策に対する支援の継続について

本市における農業用ため池144箇所のうち、特に決壊した場合に人的被害を与えるおそれのある防災重点ため池の数は、令和元年5月の再選定により、15箇所から40箇所増えて、55箇所に増大しています。

現在、耐震性等の調査を進めておりますが、数が膨大であることから、調査を早急に進めることが喫緊の課題となっております。

つきましては、防災重点ため池の早急な防災・減災対策を推進するため、**農業用ため池の調査等に対する財政支援の継続**について格段の配慮をお願いします。

### 事業内容

- 1 事業年度  
平成25年度～
  
- 2 事業概要
  - ・防災重点ため池の耐震性調査
    - 令和2年度末まで 23箇所完了予定
    - 未調査 32箇所